

～香りと一緒におうち時間(8)～

うるおって、使い心地さっぱり

初夏のスキンケアに保湿ジェルはいかが



さっぱり&しつりの保湿ジェルを作りましょう

春も終わるといのに、肌がカサカサする。そんなとき、保湿ジェルを作ってみませんか。ポイントは、たっぷりの水分とほどよい油分のバランス。さらっとしながら、薄いベールをはって肌を守ります。お風呂上がりや、手荒れのケアにいかがでしょう。

材料はこちらです

材料は、写真の3点です。少し珍しいのは、キサンタンガムという粉末の素材。海藻やイモ類から抽出されて、液体にとろみをつける働きがあります。

オリーブ油は、スキンケア用のオリーブオイルで、薬局で手に入ります。



水とキサンタンガムを混ぜます

小分けボトルに、水(25ml)とキサンタンガム(1g)を入れます。この2つがなじむには時間がかかりますから、さっと混ぜたら2～3時間おいておきましょう。

キサンタンガムを加えジェル状にすることで、水分が蒸発しにくくなり、保湿力が高まります。

オリーブ油と精油を混ぜます

ジェルが溶けるのを待つあいだに、オリーブ油(5ml)と精油(ローマン・カモミール4滴、ラベンダー2滴)を混ぜましょう。オリーブ油の魅力は、オレイン酸が豊富など。オレイン酸は、皮膚常在菌の栄養となり、肌の健康に欠かせない成分です。



両方合わせて、できあがりです

ジェルと、精油入りのオリーブ油を混ぜると、完成です。やや分離しやすいので、振ってから使います。

配合したローマン・カモミールは、肌に穏やかな精油です。アロマセラピーの世界では、火傷や切り傷をいやすと言われます。

マスク着用をお願い

新型コロナウイルス感染予防のため、店内ではマスクをお付けくださいますようお願い致します。

施術者も、ご来店からお帰りまでマスクを着用致します。

ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

おすすめアロマグッズ No.103



カモミールオレンジ・ティー (リプトン)

カモミールに、オレンジピールやハイビスカスがブレンドされたハーブティー。お湯を注ぐと、柑橘の甘い香りが漂います。

カモミールの穏やかな風味に、酸味やほろ苦さも加わって、ちょっとサングリアのような味わいです。お砂糖を入れたら、いっそう美味しくなりました。

編集後記

メイン記事でご紹介の保湿ジェル。精油には、今が開花のカモミールを使いました。5月にハーブ園に行くと、白い花が風に揺れているはず。我が家の庭でも、去年のこぼれ種が花を咲かせました。

ローマン・カモミールの香りは、よく青リンゴに例えられますが、少しエグミがあります。そこで、ラベンダーを合わせて、クセを和らげました。もちろん、ラベンダーもスキンケア効果の高い精油です。